

指定校番号	30030	学級活動	生徒会活動	<input type="radio"/> 学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-------	----------------------------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校特別活動の取組事例」

学校名	呉市立阿賀中学校	校長	湊 和昭	生徒指導主事	平岩 弘文
-----	----------	----	------	--------	-------

取組事例名 『阿賀中学校ソーランプロジェクト ～ともに伸びる～』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「思いやり・感謝・貢献」	1	「主体性・積極性」	2	「自らへの自信」	3

取組のねらい『キーワード：受け継ぐ』

○ 小中一貫教育の取組として、本年度は「ともに伸びる」をテーマとして、様々な場面で人間関係の形成と、集団への所属感や連帯感を深め、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

① 中学生はクラスのリーダーを中心に、合同練習や相互評価を通して、阿賀中学校の伝統を継承していく心構えと成長した自分の姿を確認させながら、当日の発表に結びつける。

② 1年生は、小学校6年生の時に、現2年生からソーランの指導を受け、アガデミア*発表会に参加した。その時の生徒をリーダーとし、集団づくりの取組の中心にするとともに、上級生の迫力ある演技を見学することで、阿賀中ソーランの演技と情熱、心構えを継承させる。

※「アガデミア」阿賀地区の7つの教育機関と地元自治会とで組織する「阿賀学園地域教育連携協議会」の愛称

取組の具体的内容『キーワード：クラスの団結と縦のつながり』

- ① 体育館での習得練習（評価のポイントの提示、ビデオの活用、相互評価の実施）
- ② 体育大会当日の演技場所を決定するオーデションの実施（校長が審査）
- ③ 体育大会での演舞評価（学年対抗だけでなく縦割り評価をプラスし、学年を超えて応援させる。）
- ④ 1学年：基本演舞「阿賀中ソーラン」
2学年：地元阿賀の伝説に創作を加えた「お漕ぎ船伝説Ⅱ」
3年生：阿賀中独自の演舞「YAMATO 魂」に加え、総踊りの実施（部活動の先輩が後輩に踊り方を指導、学年を超えて、当日は地域の方や卒業生も加わって踊る）
- ⑤ 体育大会後の取組（小中で連携した取組）
ア 小学校の運動会での演舞（1年生有志が小学校でソーランを披露）
イ アガデミア発表会における小学生とコラボした演舞発表（1年生が小学生を指導する）

取組の課題・創意工夫『キーワード：リーダーの育成』

- ① 演舞指導は伝統芸能部の生徒を中心とするが、男女の配置や隊形移動、演技のキレなどについて、相互評価をすることで、より良い演技となるようにしている。
- ② クラスや学年を超えて、教職員がリーダーへの指導を丁寧に行うことで、学校全体でリーダーを励まし、取組の充実を図っている。
- ③ 体育大会で中心となって取り組んだ生徒を、今後の学級活動や行事の中で活躍させることはもちろん、普段の生活や学習でのリーダーとして育成していかなければならない。

取組の成果（効果）『キーワード：自らへの自信』

- ① 学年が上がるにつれ、上級生としてこれまでの最高の踊りを見せようという意識が高まり、アドバイスを素直に聞き入れることができるようになる。そのことがより良い演技や自信につながっている。下級生も「来年は自分たちの番だ」という意識を強くしている。

- ② 小学校の運動会やアガデミア文化発表会での交流を通して、先輩への憧れや中学校に上がったら、ソーランを頑張って踊りたいという意識が芽生えている。

今後の展開『キーワード：良き伝統と貢献』

- ① 3学期には、来年度の体育大会発表に向けて、2年生の演技「お漕ぎ船伝説Ⅱ」、3年生の演技「YAMATO魂」の練習に取り組むが、阿賀中ソーランの先駆者「YAMATO呉人」の指導者だけでなく、卒業する3年生も高校入学まで後輩の指導にあたることで、新2・3年生が伝統を引き継いでいくために見通しをもって取組をすすめる。
- ② 現6年生は、入学後、希望者を対象として上級生がソーラン講習会を開いて踊りを指導する。この講習会に参加した生徒が中心となって体育大会に向けた学年練習等をすすめる取組を、クラスづくりに結びつけていく。(平成30年度は、新入生の1/3以上の参加があった。)

他教科との関わり『キーワード：ともに伸びる』

- 本年度は生徒指導の三機能（自己決定の場、共感的人間関係、自己存在感）を生かした授業づくり、生活づくりをテーマとして、小中一貫教育研究会を行った。
- 「返事は大きくはっきり」「相手を見て」「小グループによる教え合いや意見交換」等、各教科の特徴を生かした授業展開を工夫すること、阿賀中スタンダード認定を有効に活用し、褒めて伸ばす機会を多くすることで、生徒の学習意欲向上や他者の良いところを認め、良好な人間関係を築いていくことにつながっており、落ちついた校内環境で日々生活できている。

授業公開研修の一場面



1年生による小学生へのソーラン指導
(研究会、アガデミア発表会へ向けて)



体育大会 2年生「お漕ぎ船伝説Ⅱ」



体育大会 3年生「YAMATO魂」

